



問 持続可能なまちづくりにどう取り組むのか
答 子育てや健康づくりを重点的に取り組む

豊創会 村上 孝 議員

議員 少子化や高齢者が増加している現状の中で、本村は地域活性化や持続可能なまちづくりにどのように取り組むのか。

副村長 平成27年度の最重点施策として、子育てや健康づくり、地域経済の活性化など、6つの施策に取り組む。また、各分野ごとの新規・重点事業を掲げ、行政全分野に総合的に取り組む。総合戦略においては人口減少克服、地方創生を目的に、効果の高い施策を集中的に実施する観点から取りまとめた。

問 商工政策をどのように進めるのか
答 地域商品券の発行や路線バス運行に取り組む

議員 商工政策は新たな経済活性化



ラッピングバス

策を積極的に行うべきと考えるが、どう進めるのか。

副村長 プレミアム付地域商品券の発行、商工業者の課題解決の一助となるコーデイナーの設置、部原地区工業団地の企業誘致の促進、ベ

ンチャー企業創業の支援を行う。また、4月からは新たな公共交通として、4路線の路線バスの運行、中でも海浜公園西口行き路線がある。

村の貴重な観光資源である村松山虚空蔵堂と大神宮の入り口を經由し、国営ひたち海浜公園に続く路線であり、村外の方々を村内に流入させることにより村の観光振興や交流人口の増加にもつながるものと期待している。

議員 今後特急の停車本数を増やすことを推進すべきである。

問 新校舎コンセプトを教育にどう入れるか
答 理念として新しい学校の伝統をつくる

議員 新しい学校はコンセプトを持って校舎を造っている。そのコンセプトを教育の中にどのように取り入れていくのか。

教育長 竣工した東海中学校のコンセプトの一つに「木のぬくもりを感じ、自然のエネルギーを活かす学び舎」がある。コンセプトはあくまで基

本理念だが、その中で新しい学校の伝統をつくっていく。

議員 石神・舟石川・須和間幼稚園の建設に向けた考えを伺う。

教育次長 老朽化の進む石神幼稚園は、今年度、下水道への接続や門扉改修工事等、来年度は外装改修工事を予定している。舟石川幼稚園や須和間幼稚園は施設の維持と環境の改善を図っている。幼稚園の改築は平成28年度を目安に方向性を示せるよう検討を進める。



石神幼稚園トイレ